（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	POCCOくしがた

公表日　2024年12月20日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	限られたスペースでの活動が限られるが、活動内容に合わせて机の配置を変えるなど、危険がないよう個別に対応し配慮している。	運動療育では少し狭いと感じる場面もあるが、場や順番を工夫するなどして対応している。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6		HUGシステムを活用し配置人数の把握をしている。基準を満たした人数で運営している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	3	現在バリアフリーを必要とする児童の利用はないが、より安全に過ごせるよう室内の改善は都度実施している。	着替えスペースは相談室を使用している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	感染症対策も含め、日々の清掃など確実に実施している。	内装の改善が必要だと感じる場合には都度修繕している。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	相談室を個別の空間として活用している。	個別対応できる部屋が一つしかないので、工夫して使用している。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		日々の朝礼、スタッフ会議、責任者会議、事業所会議などで議題を共有している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		保護者様の評価結果を受け、支援者間で話し合う機会を設け、改善に繋げている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		日々の朝礼、スタッフ会議を実施している。上長との面接を適時実施している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6		問題が発生した時には、第三者委員会の外部評価をしていただくようにしたり、第三者委員会会議を開催し規定の確認と事例報告を実施している	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		年間研修計画に基づき、学校心理士　山内康彦先生より専門的な研修を受けている。また運動療育や専門的支援について外部の研修をうけている。	
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		活動プログラムに身辺自立、移動、作業、コミュニケーション、集団参加、自己統制の分野を取り入れを全員で立案し、活動計画を公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		児童発達管理責任者を中心に、HUGシステムを活用しアセスメント、モニタリングを実施し支援計画に繋げている	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		児童発達管理責任者を中心に、HUGシステムを活用しアセスメント、モニタリングを実施し支援計画に繋げている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	6		支援計画をさらに掘り下げて、専門的支援計画に落とし込み計画に沿った支援を実施している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		SM社会生活能力検査、KIDSやヴァインランドなどを活用している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		SST活動や運動活動、創作活動、地域交流の機会の提供等を組み合わせて支援している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		活動プログラムを全員で立案し、計画している。	

支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		職員全員で毎月、次月の活動プログラムを考案し、事業所内で検討している。放課後と学休日では、活動内容を変えるなどして様々な経験をつめるよう活動を組み立てている。SM社会生活能力検査やKIDSなどの検査結果をもとに、個々に合わせた必要な療育をおこなっている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		年齢や発達に合わせて集団活動に取り組めるようグループに分ける等、工夫をしながら行えるよう計画を作成している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		日々の朝礼で活動内容を共有し、支援担当者を振り分けるなど実施している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	6		日々の朝礼で前日の活動内容を共有し、振り返りを実施している。	支援後当日中に打合せることが難しい場合でも、次の日に相談するなどして対応している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		翌日には記録の作成をする事を徹底し、支援の検証後、速やかに公開している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		児童発達管理責任者を中心に、HUGシステムを活用し定期的にモニタリングを実施し支援計画に繋げている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	6		SST活動や運動活動、創作活動、地域交流の機会の提供等を組み合わせて支援している。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		子供たちに活動を提案してもらうなどの工夫をしながら取り組んでいる。来所後の流れ（宿題をいつするのかなど）や個別活動の際の取り組む内容について自己決定できるよう支援している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		基本的には児童発達支援管理責任者、事業所責任者が出席している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		各種会議などを通して、関係機関との連携を心掛けている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		常に学校と情報共有や連絡調整を行えるよう、連携を心掛けている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		相談支援員や相談支援事業所を通して、情報共有に努めている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6		相談支援員や相談支援事業所を通して、情報提供に努めている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	6		相談支援員や児童発達支援事業所を通して情報の共有をしている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6		地域交流や他事業所との交流等を実施している。	放課後児童クラブや児童館との交流はないが、学休日に公共の施設や公園、お祭りなどにでかけることも多く、地域の子どもと関わる機会を設けている。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6		自立支援協議会主催の研修会、後援会に参加するなどし、地域の支援者や関係機関との繋がりを図っている。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		HUGシステムでの記録や写真を公開している。送迎時等にもその日の様子を共有している。定期的なご家庭との面談や電話で成長や課題の共通理解を図っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		公式LINEや送迎時等を活用して情報を共有している。山内先生の講演会、相談会の実施や市からのイベントの案内などを配布している。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時に事業所責任者より説明している。また改定があった際には、説明を行い了承を得ている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		活動計画表に活動のねらいを提示している。	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	6		支援計画、支援内容を説明し同意を頂いている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		送迎時には家族支援を実施するなどして日頃から情報共有に努めている。保護者様に顧問心理士による専門家の講演会や個別相談会への出席をお願いしている。また、事業所責任者が適時相談、助言を実施している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	3	夏祭り等に親子参加イベントを開催し、お子さんの様子を見ていただいたりし保護者の交流を図る機会を設けている	保護者と職員の関わりは設けているが、保護者間の交流も今後検討していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		苦情BOXを設置し保護者様からのご意見や気になる点等を頂ける体制を取っている。また、責任者会議等でも情報共有し適切に対応している	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		HUGシステムの活用、HPやインスタグラム、ラインなどで日々の様子をお伝えしている	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		入会時にホームページやインスタ等の公開に関する同意書をいただき、顔を隠した写真公開や鍵付きの書庫での個人ファイルの管理等をしている	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		公式LINEやHUGシステム、対面時、電話等で常にご家庭と情報交換や情報共有を実施している	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3	地域のイベントに参加したり、他事業所との交流を実施している	事業所の行事に地域住民を招待する機会も今後検討していく
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		各種マニュアルを整備し、必要な訓練を事業所年間計画に盛り込み実施している。訓練の際にはマニュアルを都度確認し、訓練後気づいた点などを出し合って相談している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		BCPを事業所年間計画に盛り込み、非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を実施している。利用者がもれなく訓練に参加できるよう、複数回訓練をおこなっている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		契約時に確認している。 会社の規定として投薬の実施はしていない。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		契約時にアレルギーの有無の確認を実施し、対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		研修や訓練については事業所の年間計画に盛り込み安全管理を実施している	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	6		安全を確保する為に火災、地震、感染症訓練等を事業所の年間計画に盛り込み実施、結果を保護者様にアナウンスしている	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		日々の朝礼、スタッフ会議、責任者会議、事業所会議などで議題を共有している	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		研修については事業所の年間計画に盛り込み実施している	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		身体拘束については契約時説明し、同意を頂いている。どうしても身体拘束を行わなければならない場合は、事前に個別支援計画書に記載し、保護者様に報告している。	